

単位申請の記入例（初級・一級）

単位記入の注意事項は受験資格を参照。

初級／一級試験 単位換算表

単位の対象	単位数	様式 No.
1) 論文、著書	20（筆頭）、10（共著）	2-1
2) 学会発表、講演等	15（筆頭）、10（共同）	2-1
3) 学会、講習会、研修等会参加	10（全国）、5（地方）	2-2、2-3
4) 学術セミナー参加	5	2-4
5) 学会主催の教育活動	10（全国）、5（地方）	2-5
6) 学校の教育活動	10（1科目）	2-5
7) 分子生物学関連科目の履修	5（1科目）	初級受験者のみ
8) 初級または一級指定研修受講	20（1回）	初級学生/一級受験者は必須

例 1 初級学生

学生は初級指定研修受講（20 単位）が必須であり、その他は 30 単位でよい。1) 分子生物学関連科目履修の単位数は学校の単位数ではない。1 教科 5 単位とし上限 30 単位とする（5 単位×6 教科＝30 単位）。

	申請者	資格審査 チェック欄
1) 分子生物学関連教科履修（願書履修合計にも転記する） ←	30 単位	
2) 論文、著書（様式 2-1）		
3) 学会発表、講演等（様式 2-1）		
4) 学会参加（様式 2-2）		
5) 講習会・研修会等参加（様式 2-3）		
6) 学術セミナー参加（様式 2-4）		
7) 学会、学校教育活動（様式 2-5）		
1) ～ 7) の合計（願書の写真貼付下の申請合計単位にも転記する） ←	30 単位	
8) 初級指定研修受講（必須）	20 単位	
合計単位数 1) ～8) の合計	50 単位	

例 2 初級社会人

1) 分子生物学関連科目履修の単位数は学校の単位数ではない。1 教科 5 単位とし上限 30 単位とする（5 単位×6 教科＝30 単位）。1) ～ 7) の合計が 50 単位未満の場合、初級指定研修受講は必須となる。その際、8) 初級指定研修受講に 20 と記入する。50 単位以上ある場合、8) 初級指定研修受講欄は記入しない。

	50 単位以上	50 単位未満
1) 分子生物学関連教科履修（卒後 5 年まで 願書履修合計にも転記する）		
2) 論文、著書（様式 2-1）	20	
3) 学会発表、講演等（様式 2-1）	15	10
4) 学会参加（様式 2-2）	10	10
5) 講習会・研修会等参加（様式 2-3）	10	10
6) 学術セミナー参加（様式 2-4）		
7) 学会、学校教育活動（様式 2-5）		
1) ～ 7) の合計（願書の写真貼付下の申請合計単位にも転記する） ←	55 単位	30 単位
8) 初級指定研修受講		20 単位
合計単位数 1) ～8) の合計	55 単位	50 単位

例3 一級

1) ～ 6) は受験前の5年間を対象とする。

	申請者	資格審査 <small>チェック欄</small>
1) 論文、著書 (様式 2-1)	10 単位	
2) 学会発表、講演等 (様式 2-1)		
3) 学会参加 (様式 2-2)	20 単位	
4) 講習会・研修会等参加 (様式 2-3)		
5) 学術セミナー参加 (様式 2-4)		
6) 学会、 学校教育活動 (様式 2-5)		
1) ～ 6)の合計 (願書の写真貼付下の申請合計単位にも転記する) ←	30 単位	
7) 一級指定研修会 (必須)	20 単位	
合計単位数 1) ～7) の合計	50 単位	

◇ 資格審査の結果、申請単位数が不足の場合はメールで連絡します。

◇ 研修受講希望者は事前の申込は必要ありません。当日、直接会場にお越しください。